

ファンクションポール7型・8型 インターホンカバー 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。
- 電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は必ず電気工事店へ依頼してください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触部分を完全に養生してください。
- 柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。
- 結線は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
- 照明とインターホンをどちらも取付ける場合は、隔壁となる配管を設けてください。
- 配線はあらかじめ2m位立ち上げておいてください。
- インターホン子機と親機は同一メーカー品を使用してください。（子機は JIS1 個用スイッチボックス対応品）

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い |
|-----|---|-----|-----------------------|
| | この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 | | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |

もくじ

| | |
|---|---|
| 梱包明細 | 2 |
| 施工前の確認 | 2 |
| 納まり図 | 3 |
| 1. 正面用ブラケットの取付け | 4 |
| 1-1ポールへの孔加工 | 4 |
| 1-2インターホンカバー取付ブラケットの取付け | 4 |
| 2. 側面用インターホンボックスの取付け | 5 |
| 2-1ポールへの孔加工 | 5 |
| 2-2インターホンボックスの取付け | 5 |
| 3. 中間用インターホンボックスの取付け | 6 |
| 3-1ポールへの孔加工 | 6 |
| 3-2インターホンボックスの取付け | 6 |
| 4. インターホンの取付け | 7 |
| 4-1インターホンの取付け（中間・側面・正面用 共通） | 7 |
| 4-2インターホンカバーの取付け（中間・側面・正面用 共通） | 7 |
| 4-3インターホンボックスカバーの取付け（中間用の場合） | 8 |
| 4-4インターホンボックスカバー・キャップの取付け（側面用の場合） | 8 |
| 5. 有田焼サインの取付け（オプション） | 8 |
| 施工工事店様、販売店様へのお願ひ | 8 |



本商品は、「ファンクションポール7型・8型」専用品です。他商品への取付けはできません。



インターホン子機と親機は、下記対応製品より同一メーカー品を現場手配してください。（JIS1 個用スイッチボックス対応品）

●対応製品

| インターホンカバータイプ | メーカー | 型式 |
|--------------|--------------------|----------------------------------|
| A・D・H型 | アイホン | JC-DA / JB-DA KC-DAR / KB-DAR |
| B・E・I型 | 松下電工 （ナショナル） | WQR001A |
| C・F・J型 | 松下電器産業 （パナソニック） | VLV-565-K |



インターホンに付属の説明書を合わせて参照してください。

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

| 梱包名称 | 梱包内容 | 表内の（ ）は個数を表しています。 |
|-----------|----------|--|
| インターホンカバー | 正面用 | インターホン前面化粧カバー (1)・固定バー (6)・正面用インターホンカバー取付ブラケット (2) M4 × 10 六角孔付ボルト (6) φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (6)・φ 4 × 19 特皿セルフドリリングビス (4)・φ 4 × 16 トラスタップピン 3 種 (2) 取付説明書 [ME-1877] (1) |
| | 側面用 | インターホン前面化粧カバー (1)・側面用インターホンボックス (1) 固定バー (6)・M4 × 10 六角孔付ボルト (6)・M4 × 10 トラス小ネジ (6) インターホンボックス固定金具 (1) M4 × 10 トラス小ネジ (2)・φ 4 × 19 セルフドリリングビス (1) 裏板 (2)・M4 × 10 トラス小ネジ (2)・M4 用平座金 (2)・M4 用バネ座金 (2) 側面用インターホンボックスキャップ (1)・φ 4 × 15 特皿タップピン 3 種 (4) 側面付用インターホンボックスカバー (1)・φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (5) M4 × 10 トラス小ネジ (2)・取付説明書 [ME-1877] (1) |
| | 側面用（露出型） | 側面用インターホンボックス露出型 (1) インターホンボックス固定金具 (1) M4 × 10 トラス小ネジ (2)・φ 4 × 19 セルフドリリングビス (1) 裏板 (2)・M4 × 10 トラス小ネジ (2)・M4 用平座金 (2)・M4 用バネ座金 (2) 側面用インターホンボックスキャップ (1)・φ 4 × 15 特皿タップピン 3 種 (4) 側面付用インターホンボックスカバー (1)・φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (5) M4 × 10 トラス小ネジ (2)・取付説明書 [ME-1877] (1) |
| | 中間用 | インターホン前面化粧カバー (1)・中間用インターホンボックス (1) 固定バー (6)・M4 × 10 六角孔付ボルト (6)・M4 × 10 トラス小ネジ (6) インターホンボックス固定金具 (2)・φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (4) 裏板 (4)・M4 × 10 六角ボルト (4)・M4 用平座金 (4)・M4 用バネ座金 (4) インターホンボックスカバー (1)・φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (4) M4 × 10 トラス小ネジ (2)・取付説明書 [ME-1877] (1) |
| | 中間用（露出型） | 中間用インターホンボックス露出型 (1) インターホンボックス固定金具 (2)・φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (4) 裏板 (4)・M4 × 10 六角ボルト (4)・M4 用平座金 (4)・M4 用バネ座金 (4) インターホンボックスカバー (1)・φ 4 × 10 特皿タップピン 3 種 (4) M4 × 10 トラス小ネジ (2)・取付説明書 [ME-1877] (1) |

施工前の確認

- 施工についての注意事項です。あらかじめ、確認してください。



- インターホン子機と親機は、対応製品より同一メーカー品を現場手配してください。（JIS1 個用スイッチボックス対応品）
※対応製品については、1 ページを参照してください。
- 施工前にインターホン用配管（信号線）をファンクションポール内に 2m くらい立ち上げておいてください。
※信号線の設置については、ファンクションポール本体の取付説明書を参照してください。



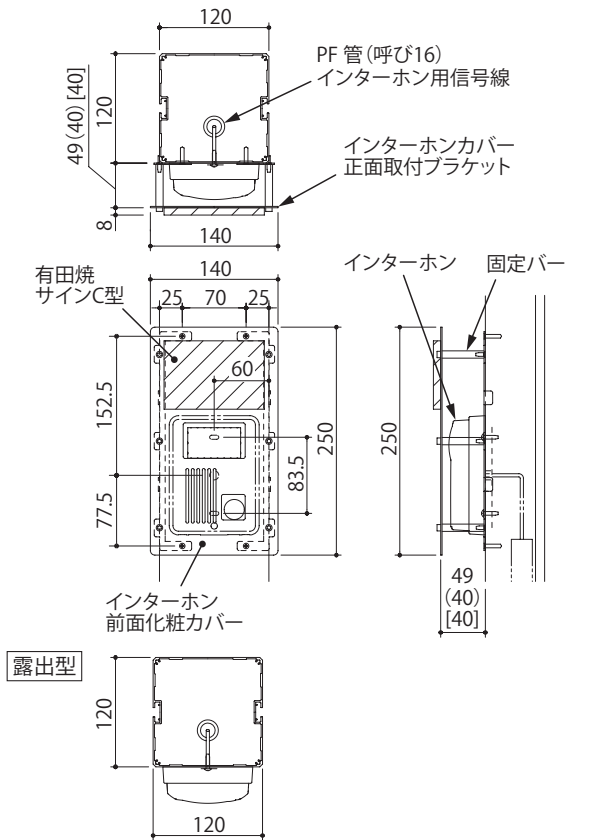
本商品には「有田焼サイン C 型」を組み合わせることができます。組み合わせる場合は、あらかじめ現場手配しておいてください。
※取付方法については、「5. 有田焼サインの取付け」を参照してください。

納まり図

- 施工前に必ず確認してください。
- 本図はファンクションポール7型の場合を示しています。

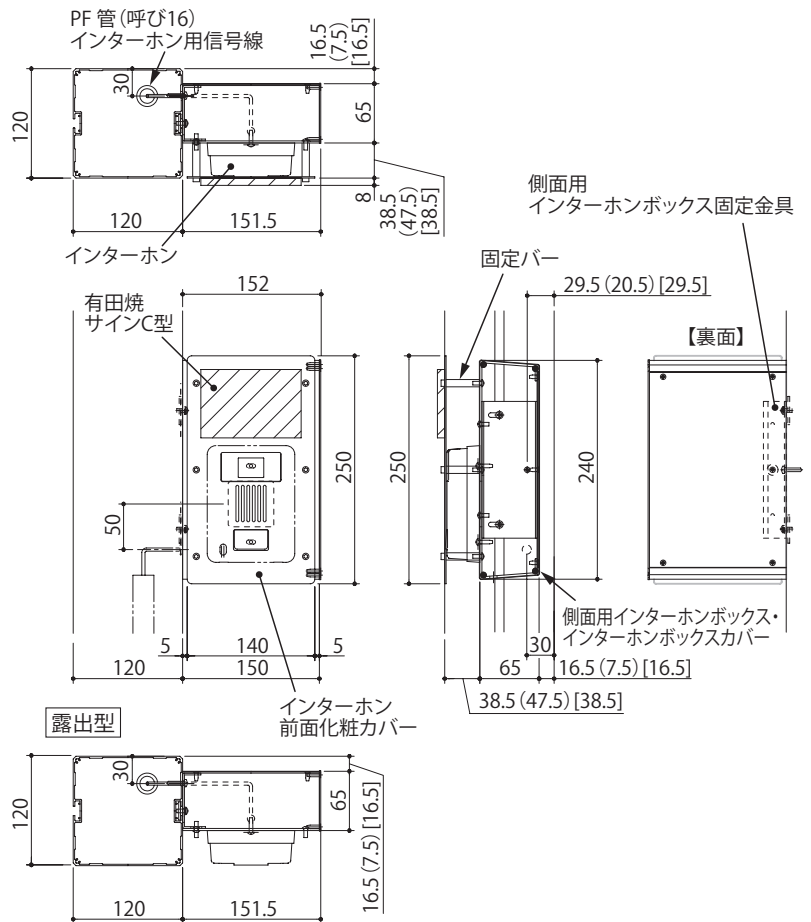
正面用 (アイホンの場合)

※本図はアイホンの場合を示しています。
 ※ () 内寸法は松下電工、[] 内寸法は松下電器産業の場合を示しています。



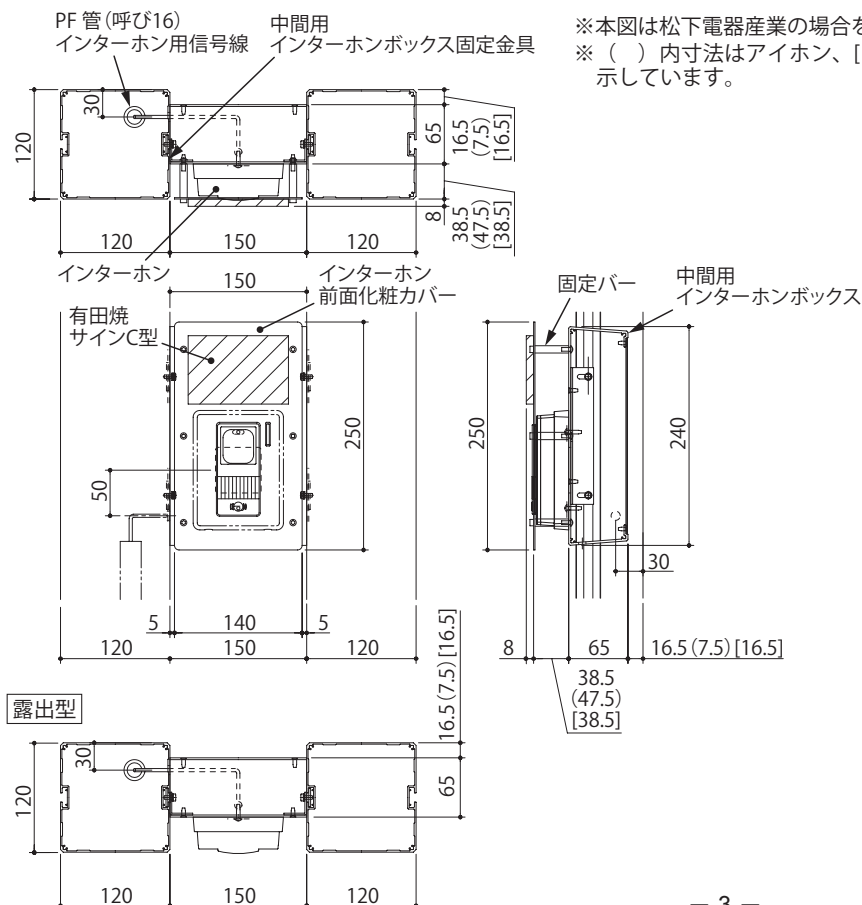
側面用 (松下電工 [ナショナル] の場合)

※本図はナショナルの場合を示しています。
 ※ () 内寸法はアイホン、[] 内寸法は松下電器産業の場合を示しています。



中間用 (松下電器産業 [パナソニック] の場合)

※本図は松下電器産業の場合を示しています。
 ※ () 内寸法はアイホン、[] 内寸法は松下電工の場合を示しています。



1 正面用ブラケットの取付け

●正面用の場合の手順です。中間・側面用の場合は次項目へ進んでください。

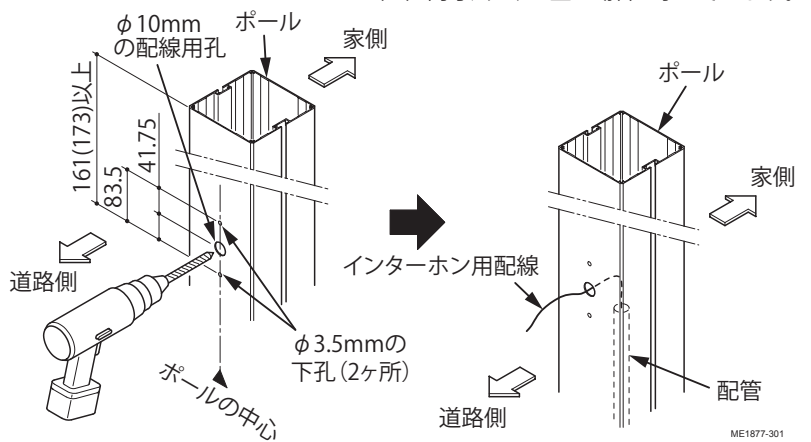
1-1 ポールへの孔加工

※()内寸法は、8型の場合を示しています。

①ポールに配線用とインターホン用の孔加工を行ってください。

●孔加工の径

- ・配線用φ 10mm (1ヶ所)
- ・インターホン用：φ 3.5mm (2ヶ所)



1-2 インターホンカバー取付ブラケットの取付け

①インターホンカバー取付ブラケットに固定バーを取付けてください。

●固定バーの長さ

固定バー

L=46 (アイホン)
L=37 (ナショナル・パナソニック)

※インターホンの型式によって固定バーの長さが異なる

●固定バーの長さ

固定バー

L=46 (アイホン)
L=37 (ナショナル・パナソニック)

※インターホンの型式によって固定バーの長さが異なる

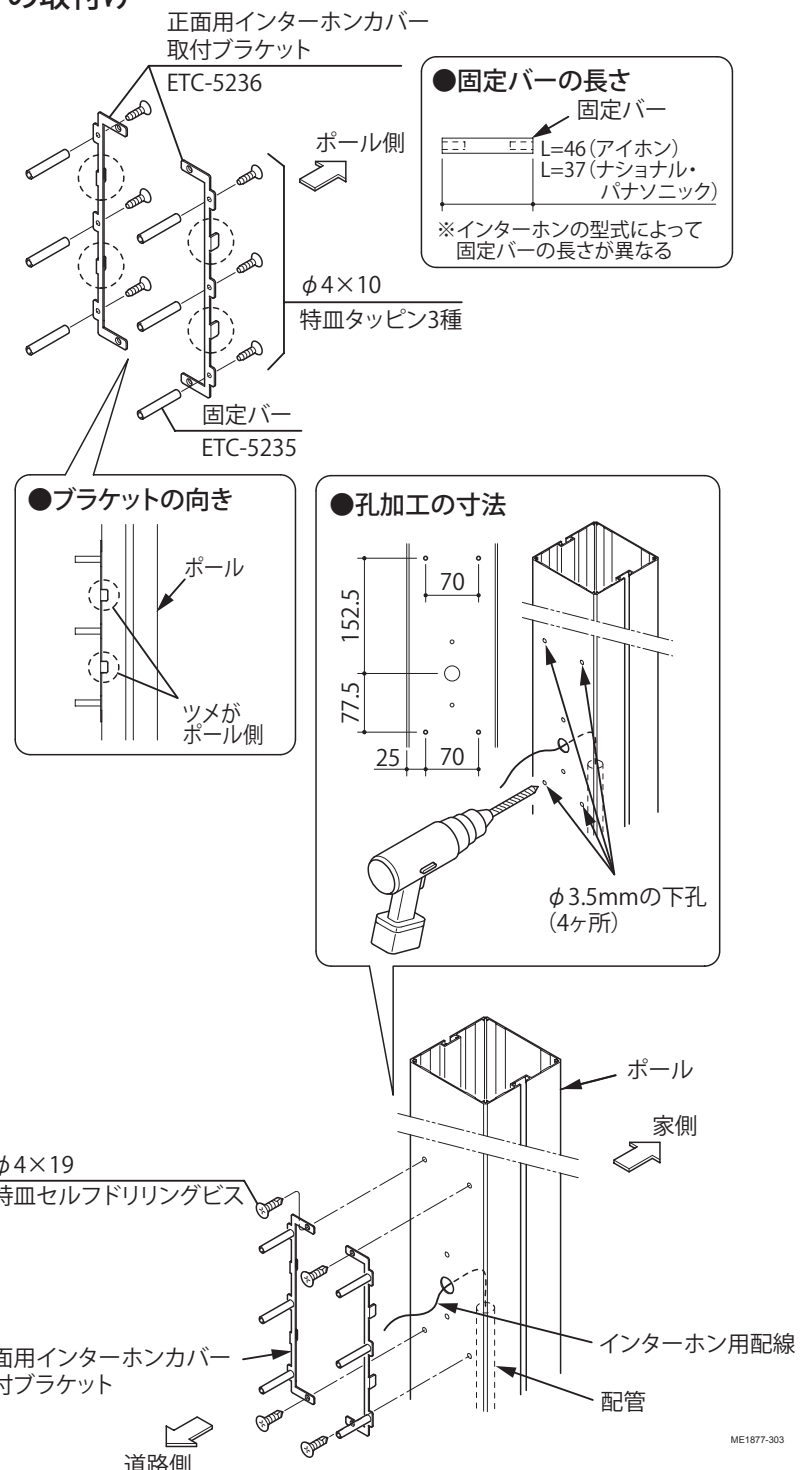
●ブラケットの向き

※向きを間違えると、ポールにブラケットを取付けられなくなります。

②ポールにφ 3.5mm の下孔をあけてください。

③ポールにインターホンカバー取付ブラケットを取付けてください。

④「1-1」であけた孔よりインターホン用の配線を通してください。




2 側面用インターホンボックスの取付け

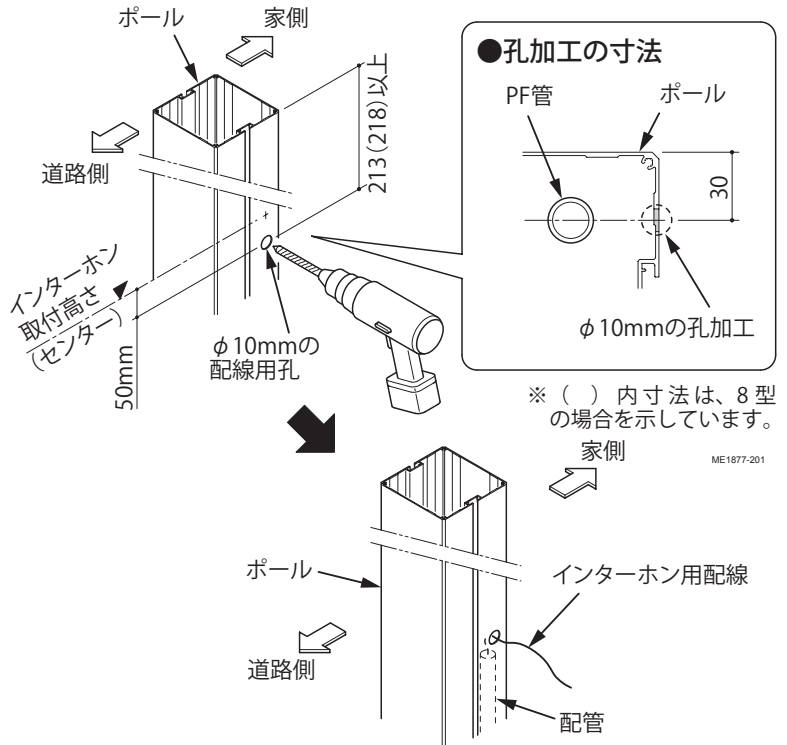
●側面用の場合の手順です。正面用の場合は次項目へ進んでください。
※中間用の場合は、前ページの手順を参照してください。

2-1 ポールへの孔加工

①ポール配線用の孔加工を行ってください。


 孔加工の径：φ 10mm

②「手順①」であけた孔よりインターホン用の配線を通してください。



2-2 インターホンボックスの取付け


①インターホンボックスにφ 5 mmの下孔を2ヶ所あけてください。


 下孔位置は、ポール側の2ヶ所になります。

②インターホンボックス固定金具をインターホンボックスに取付けてください。

③インターホンボックス固定金具に裏板を仮組みしてください。

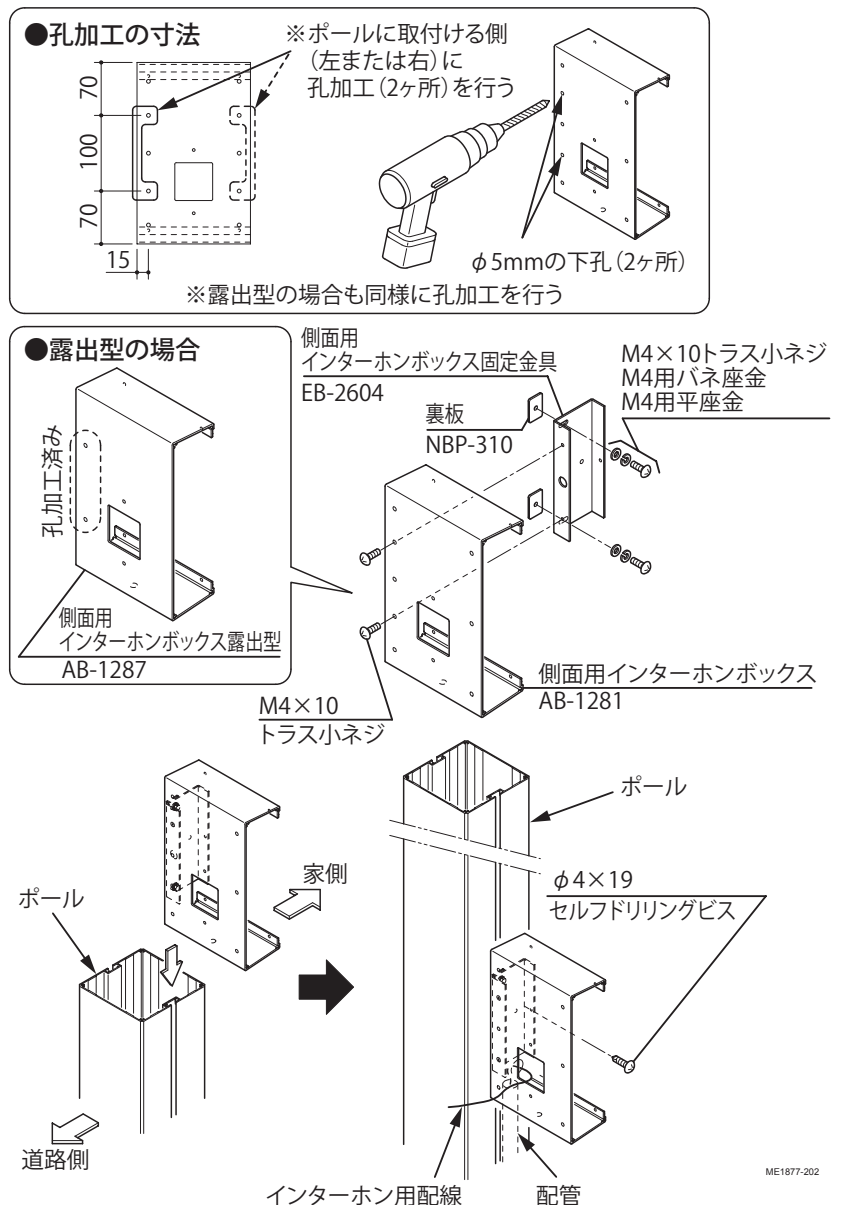
④裏板をポールの溝にスライドさせて挿入し、位置の決定後、ボルトを本締めしてください。

 **ポスト・サイン等と干渉しない位置に取付けてください。**
※ポスト取出し口の開閉スペースを考慮してください。

 **ファンクションポール8型の場合は、固定金具の裏板を、溝材(上)に挿入してから、溝材(下)を取付けてください。**
※詳細については、[ME-1876]の「1.基本的な取付方法」を参照してください。

⑤固定用のセルフドリリングビスを取付けてください。

⑥インターホンボックスからインターホン用の配線を通してください。



3 中間用インターホンボックスの取付け

●中間用の場合の手順です。側面・正面用の場合は次項目へ進んでください。

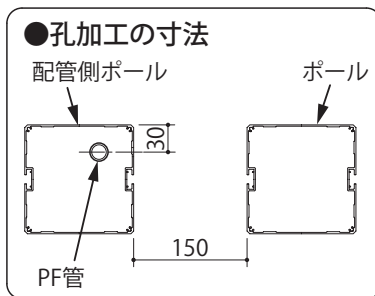
3-1 ポールへの孔加工

- ①配管を立ち上げてある側のポールに、配線用の孔加工を行ってください。

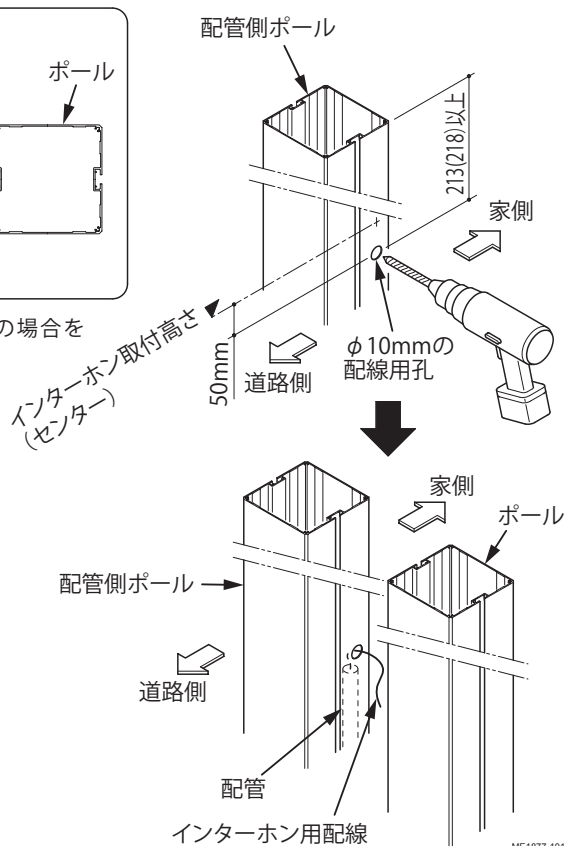


孔加工の径：φ 10mm

- ②「手順①」であけた孔よりインターホン用の配線を通してください。



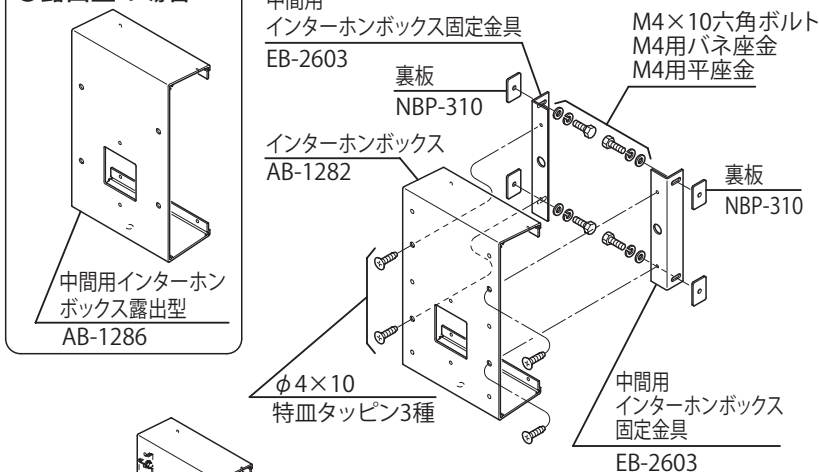
※ () 内寸法は、8型の場合を示しています。



3-2 インターホンボックスの取付け

- ①インターホンボックス固定金具をインターホンボックスに取付けてください。
- ②インターホンボックス固定金具に裏板を仮組みしてください。

●露出型の場合



- ③裏板をポールの溝にスライドさせて挿入し、位置の決定後、ボルトを本締めしてください。



ポスト・サイン等と干渉しない位置に取付けてください。

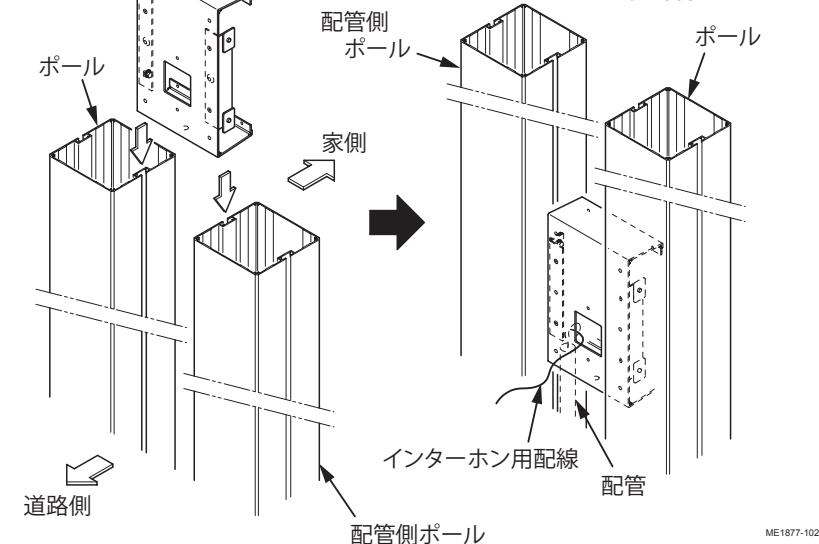
※ポスト取出し口の開閉スペースを考慮してください。



ファンクションポール 8型の場合は、溝材に仮止めしている裏板へ取付けてください。

※詳細については、[ME-1876]の「1. 基本的な取付方法」を参照してください。

- ④インターホンボックスからインターホン用配線を通してください。



4 インターホンの取付け

●納まりごとの手順にしたがってください。

4-1 インターホンの取付け (中間・側面・正面用 共通)

- ①インターホン子機 (現場手配) をインターホンボックスに取付け、結線してください。

注意

照明付きポールの場合、照明用の電源線と間違えないようにしてください。

注意

結線は、電気工事店様 (有資格者) が行ってください。

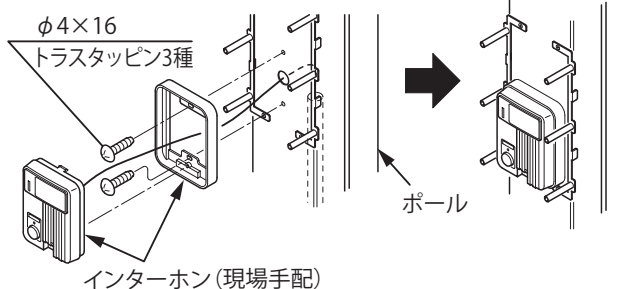


余りの信号線は、ポール内に押し込んでください。

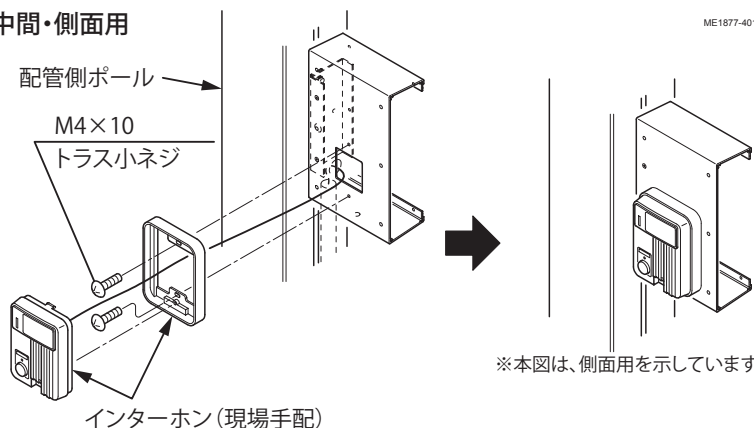


インターホンに付属の説明書を合わせて参照してください。

●正面用



●中間・側面用



4-2 インターホンカバーの取付け (中間・側面・正面用 共通)



露出型の場合は、作業不要です。

共通の手順

- ①固定バーにインターホン前面化粧カバーを取付けてください。

中間・側面用の手順

- ②インターホンボックスに固定バーを取付けてください。



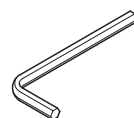
インターホンの型式ごとに固定バーの長さが異なります。

●正面用

インターホン前面化粧カバー
ETC-5231 (アイホン)
ETC-5232 (ナショナル)
ETC-5233 (パナソニック)

φ4×10
六角孔付ボルト

●六角レンチ
(六角サイズ3.0mm)



※現場手配してください

※本図は、アイホン用を示しています。

●中間・側面用

インターホン
前面化粧カバー
ETC-5231 (アイホン)
ETC-5232 (ナショナル)
ETC-5233 (パナソニック)

M4×10
トラス小ネジ

固定バー
ETC-5235

φ4×10
六角孔付ボルト

●固定バーの長さ

固定バー
L=46 (アイホン)
L=37 (ナショナル・
パナソニック)

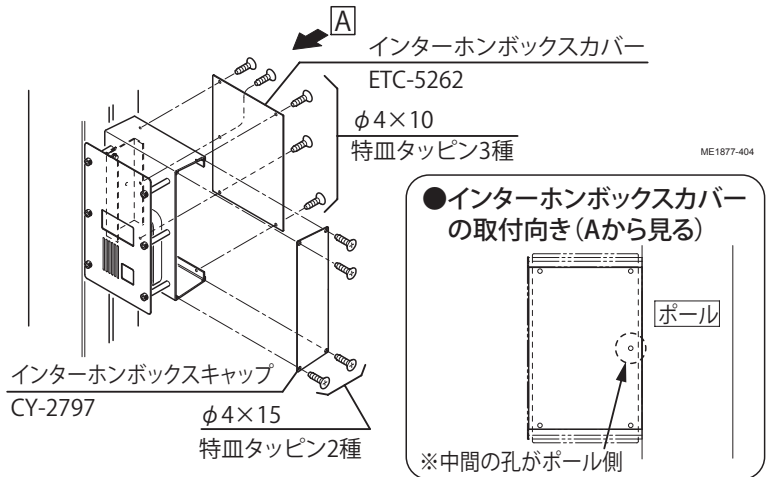
※インターホンの型式によって
固定バーの長さが異なる

※本図は、側面用・アイホン用を示しています。

インターホンの取付け

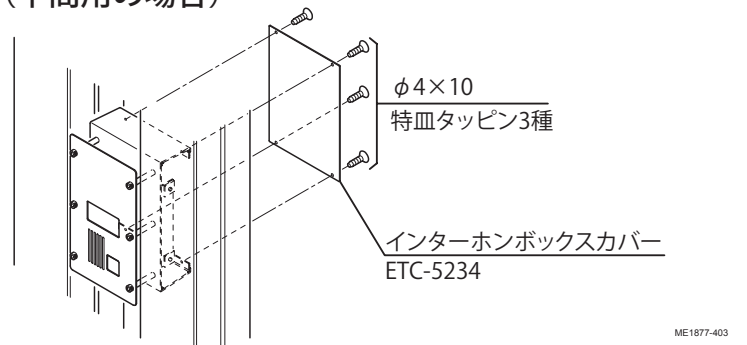
4-3 インターホンボックスカバー・キャップの取付け（側面用の場合）

- ①インターホンボックスにインターホンボックスカバーを取付けてください。
- ②インターホンボックスキャップを取付けてください。



4-4 インターホンボックスカバーの取付け（中間用の場合）

- ①インターホンボックスにインターホンボックスカバーを取付けてください。



5 有田焼サインの取付け（オプション）

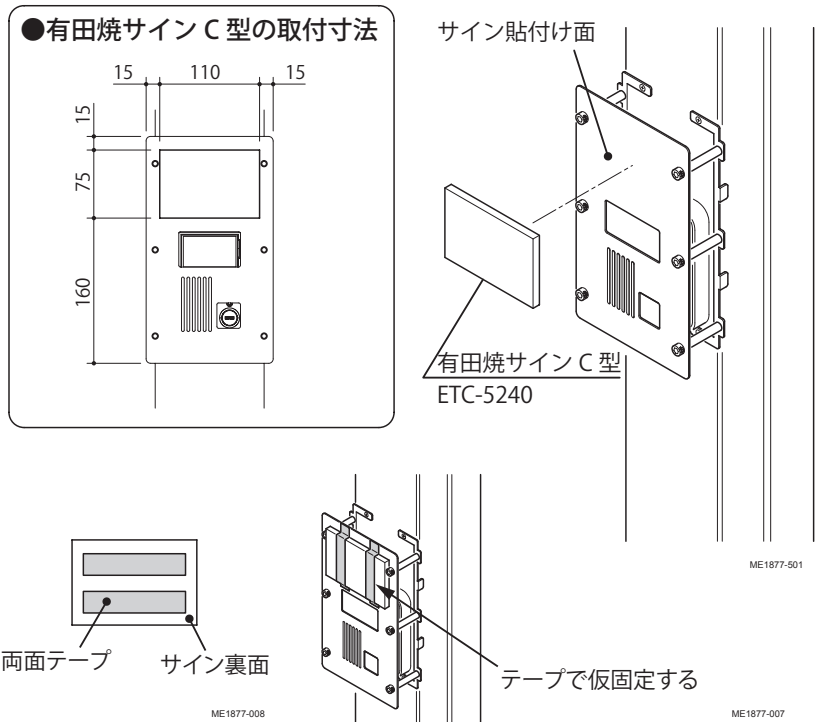
●オプションの有田焼パネルC型を取付ける場合に参照してください。

インターホンカバーには、有田焼サインC型を取付けることができます。

- ①サイン裏面の両面テープの剥離紙をはがし、インターホンカバーに貼付けてください。

サインの貼付け前に、サイン貼付け面の油脂・ほこり等をきれいに拭き取ってください。

下記、「サイン貼付けのポイント」を合わせて参照してください。



有田焼サインC型 貼付けのポイント

- 有田焼サインを、インターホンカバーのサイン貼付け面に強く押し付けてください。
- 両面テープの粘着力が安定するまで、テープで仮固定してください。

サインの貼付け後、24時間はサインおよびインターホンカバーに大きな力が掛からないようにしてください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しく下さい。

商品へのお問合せは・・・

商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

0120-37-2534